

## 第59回 中央委員会

# 今春闘の道筋は整った 改正法の意義を発揮して闘おう

(愛媛地本)

2014年2月27日 愛媛地本は、第59回中央委員会を開き「精一杯の取組み」を確立

愛媛地本は、2月27日、松山市久万ノ台の愛媛地本会議室で、全自交愛媛地本第59回中央委員会を開きました。

岡本五郎執行委員長は、「全自交本部の2014春闘ポスターにあるように、私たちの念願であったタクシー関連3法の改正や中四国地方連合会発足など今春闘への道筋は整った。その意義を存分に発揮して、好条件を勝ち取っていきたい」と強い意気込みを語りました。



続いて合田書記長より春闘方針の提案及びハンドル共済から団体生命への移行が提案され、質疑討論では、消費増税と運賃改定とが重なり、混乱を極めている東中予運賃ブロックについての質問があり、「労働者が割を食うようなことには絶対にしてはならない」「限られた時間の中ではあるが、精一杯の取組みをしていく」など活発な意見交換がされました。その後、提案事項は満場一致で採択しました。

来賓挨拶では来年の統一地方選挙に先立って今年4月に行われる松山市議会議員選挙の予定候補社民党中村よしあきさんより、日頃の全自交愛媛地本の運動に対して感謝の言葉と更なる支援へのお願いがありました。

最後に、「職場の団結を固め全組合員が一丸となって積極的に闘う」とする決議文を採択し、岡本執行委員長の団結ガンバローで締めくくりました。